

# 沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学・統計解析委員会

## 【現状】

### 新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週(4月4日-10日)の新規陽性者数は、8,546人(先々週7,020人)でした。沖縄本島(周辺離島を含む)における先週の実効再生産数(R)<sup>\*1</sup>は1.14[最小値0.50-最大値1.36]、このうち那覇市は1.09[0.68-1.36]でした。また、宮古は1.23[0.42-1.88]、八重山は1.62[1.23-2.09]でした(図1)。全県的に感染が拡大しています。

\*1:最終日を除いた直近7日間における日別推定値(平均値)の平均値。[ ]内は、直近7日間における日別推定値(平均値)の範囲(最小値から最大値)を表す。

### 年齢階級別推移

年齢階級別では、10代が1,508人(18%)と最多であり、10歳未満1,424人(17%)、20代1,229人(14%)と続きます(図2)。推移をみると、10歳未満は第6波を越えて過去最多となっており、10代も過去最多に並ぶ勢いで、子どもたちの流行となっています(図3)。ただし、先週中旬頃より増加速度が減弱しており、春休みが終わって学校が再開されたことの影響が考えられます。

最も増加しているのは90代で、先週102人のうち入所施設における感染が52人(51%)、デイサービスにおける感染が9人(9%)と介護関連感染が6割を占めていました。

### 保健所管区別

保健所管轄区域別(7日間合計)では、北部511人(先々週388人)、中部3,054人(先々週2,518人)、那覇市1,870人(先々週1,644人)、南部

2,434人(先々週2,026人)、宮古287人(先々週218人)、八重山331人(先々週169人)でした(図4)。特に、石垣市で急速に感染が広がっています。

なお、県外からの渡航者は53人(先々週46人)でした。このうち東京都11人、千葉県7人、茨城県5人であり、渡航元は19都道府県と散らばっています。

### ゲノム解析

3月20日から30日にかけて県内で採取された48検体について全ゲノム解析を実施したところ、うち22例(45.8%)が感染力の強いとされる「BA2」系統のウイルスでした。さらに、3月26日から4月4日にかけて採取された48検体では、28例(58.3%)が「BA2」系統のウイルスでした。沖縄県内では「BA2」への置き換わりが徐々に進んでいます。

### 入院患者数推移

先週の新規入院患者数は167人でした。入院患者数は、先週末(4月10日時点)で273人と1週間前より87人増加しています。酸素投与など中等症患者は134人と1週間前より47人増加であり、気管挿管など重症患者は2人と1週間前と変わりません(図5)。

この他、社会福祉施設で療養されている陽性者が、先週末(4月3日時点)で28施設に170人おられ、1週間前より95人増加と急速に増えています。

なお、先週末(4月10日時点)における病床占有率は、沖縄本島44.1%(226/512)、宮古地区

3.0% (2/66)、八重山地区 22.7% (10/44) となっています。高齢者の新規陽性者の増加により、沖縄本島における病床占有率が急速に上昇しています。

### 接種回数別にみる入院と死亡の状況

2022年1月1日から3月31日までに診断確定した感染者72,965人について、ワクチン接種回数別に入院および死亡の状況を確認しました。なお、接種後2週間以内の診断については、接種回数に含めていません。

50代、60代、70代、および80歳以上のどの階級においても、接種回数が増えるほどに入院受療率が低下する傾向を認めます。ただし、3回接種

を完了していても80歳以上では、34.2% (64/187) が入院を要するなど、必ずしも軽症で推移するわけではありません。一方、未接種もしくは1回接種者では、87.4% (139/159) が入院を要する状態となっています。

また、60代、70代、および80歳以上のどの階級においても、接種回数が増えるほどに致死率が低下する傾向を認めます。すべての年代において3回接種者では死亡例を認めていませんが、80歳以上の未接種または1回接種者では3.8% (6/159) が死亡しています。

病原性が低下したとされるオミクロン株であっても、高齢者にとっては危険な感染症であり、ワクチン接種の必要性が示唆されます(図6)。

## 【今後の見通しと対策】

沖縄県では、春休みに入って以降、全県的に感染拡大が進んでいます。特に、子どもたちにおける拡大が顕著であり、久しぶりにスポーツ合宿などが開催されるなど、春休みの交流が活発だったと考えられます。ただし、先週より学校が再開されたこともあり、拡大の勢いは収まっていく可能性があります。

一方、歓迎会や懇親会、新歓コンパなど、年度初めのイベントにより感染が拡大する可能性があります。多人数での会食は避けるか、事前に参加者全員の検査陰性を確認することをお勧めします。また、少しでも体調に異常がある場合には、検査結果によらず参加を控えることを徹底してください。個人への呼びかけでは限界があるため、会社単位、学校単位で注意を促していただければと思います。

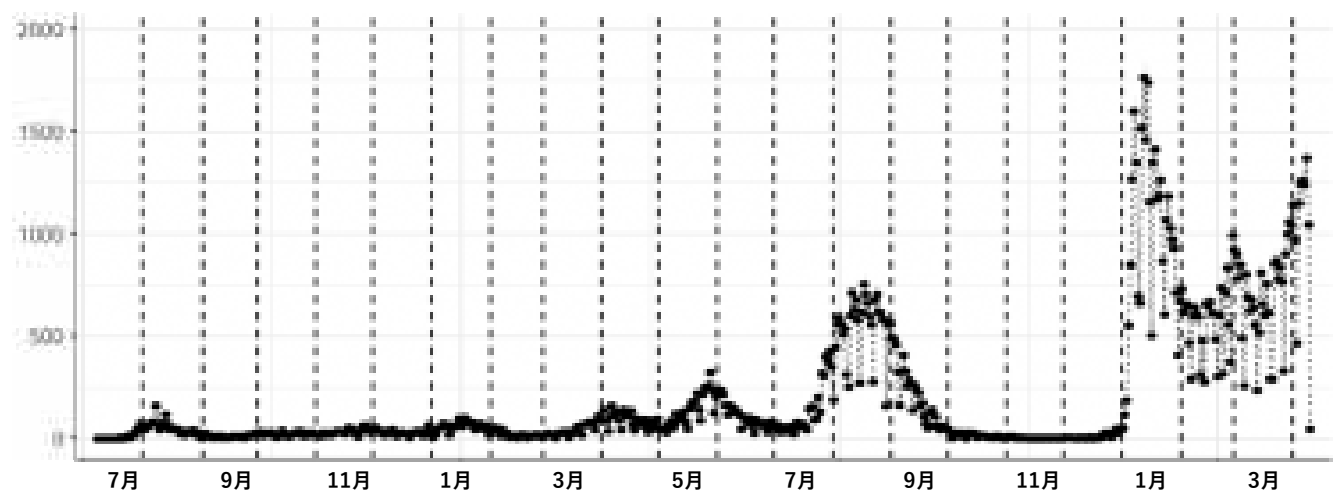
今後も、高齢者や基礎疾患を有する者、肥満、妊婦の一部など重症化リスクの高い方々を守ることが重要です。感染リスクのあるイベントに参加したあとは、1週間程度、重症化リスクの高い方の自宅を訪問したり、一緒に食事をしたりすることは避けてください。

今週の新規陽性者数は10,000-13,500人となり、今週末までに入院患者数は300-350人に至り、うち重症患者数は4人前後と見込まれます(図7)。

# 図1 陽性者数の推移と実効再生産数 (北部、中部、南部)

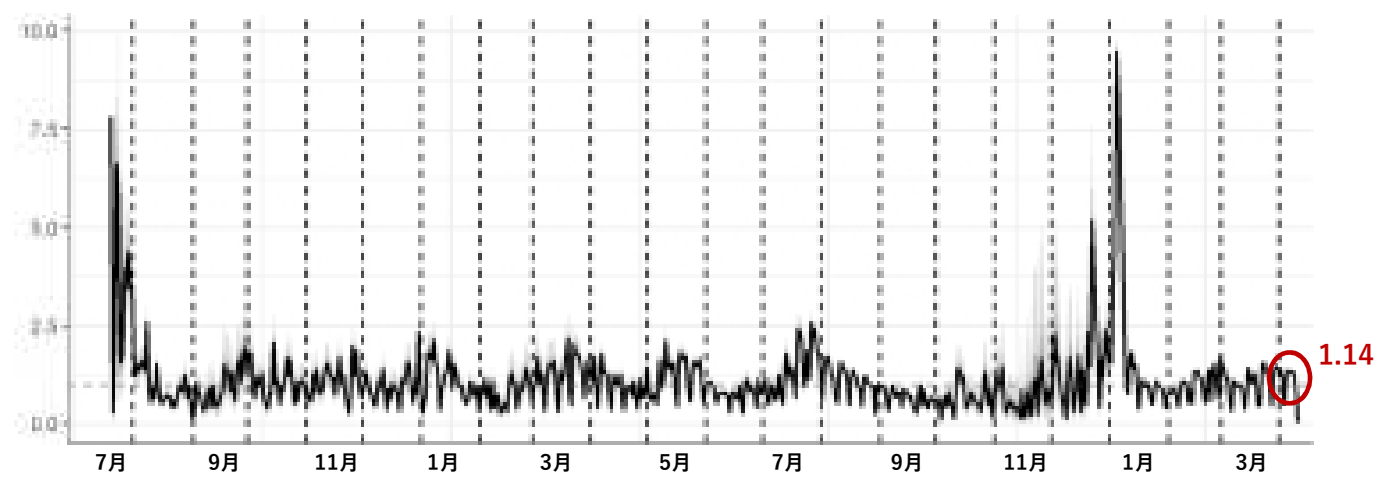
陽性者数 (確定日)  
日あたり観察値

北部、中部、南部医療圏  
(宮古・八重山を除く)

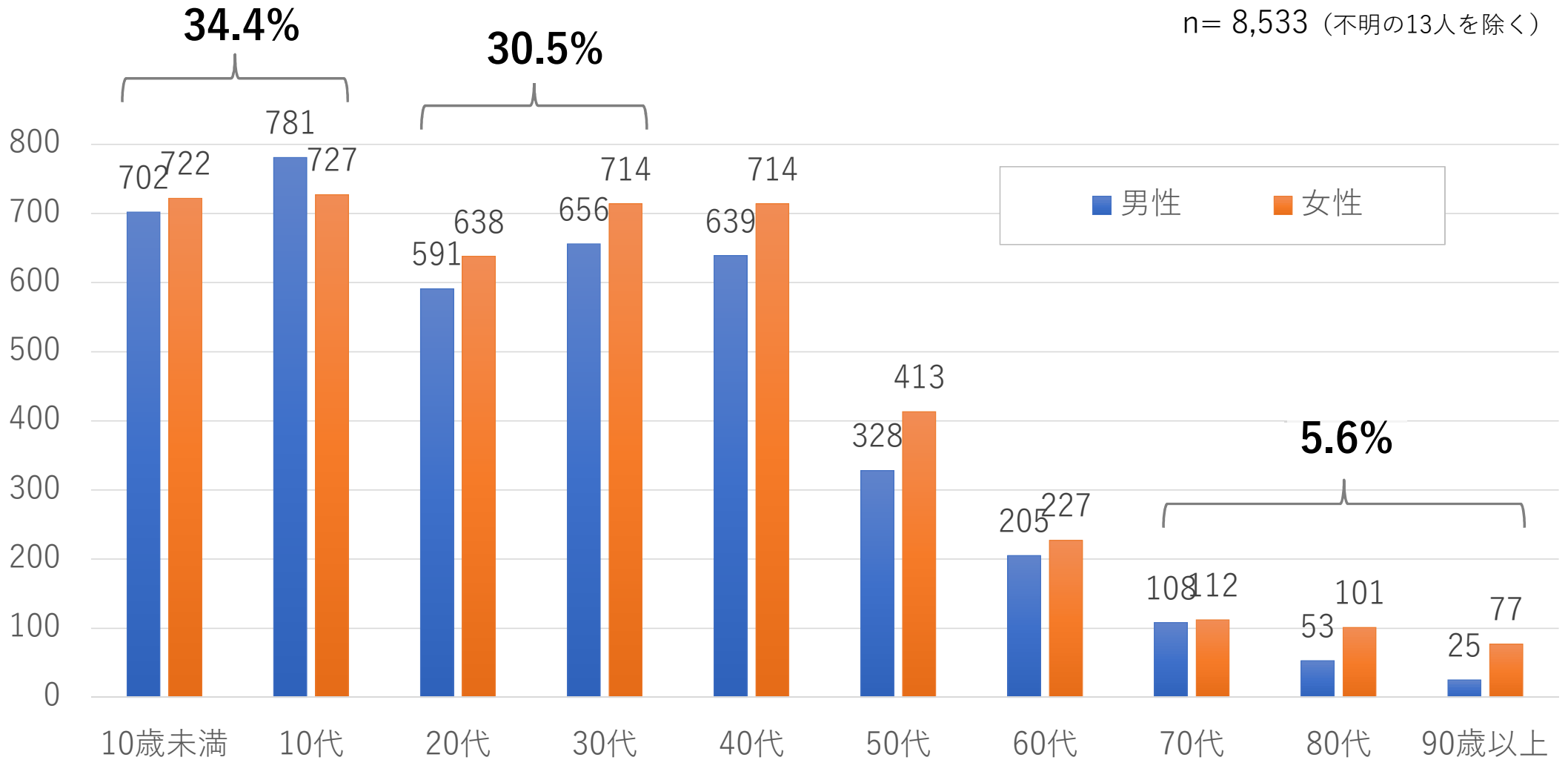


実効再生産数  
直近7日間平均値

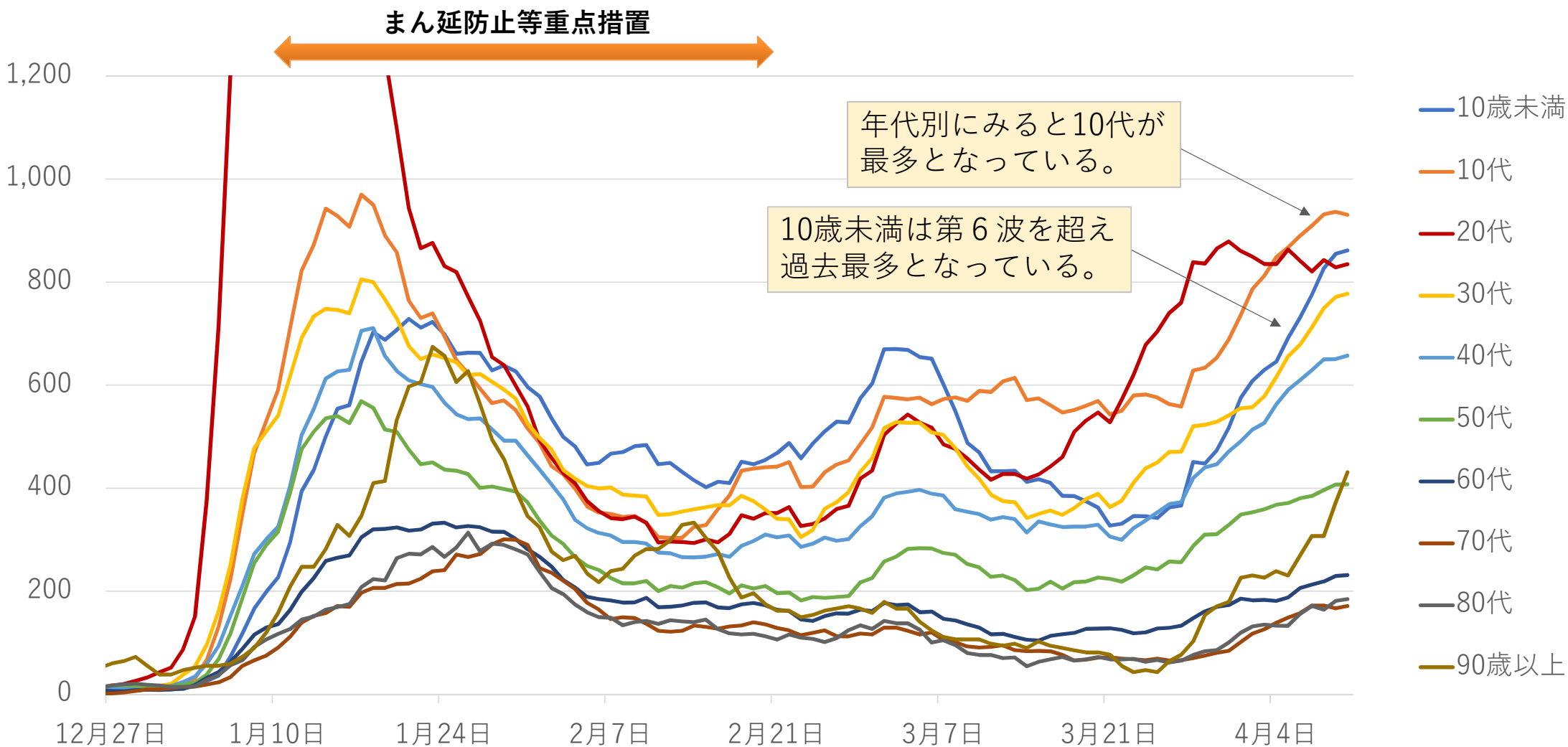
北部、中部、南部医療圏  
(宮古・八重山を除く)



# 図2 性年齢階級別に見る陽性者数 (4月4日~10日)

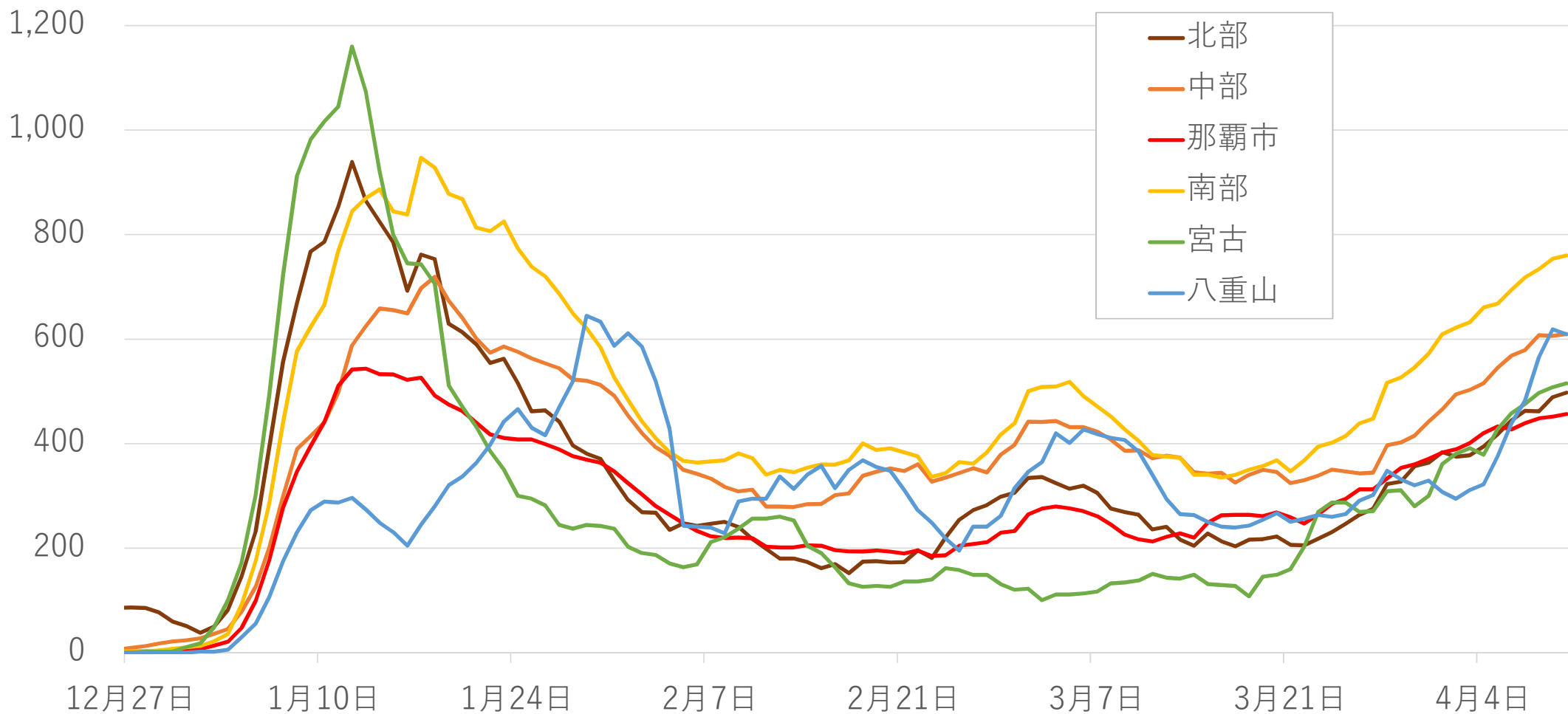


# 図3 年齢階級別に見る新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)

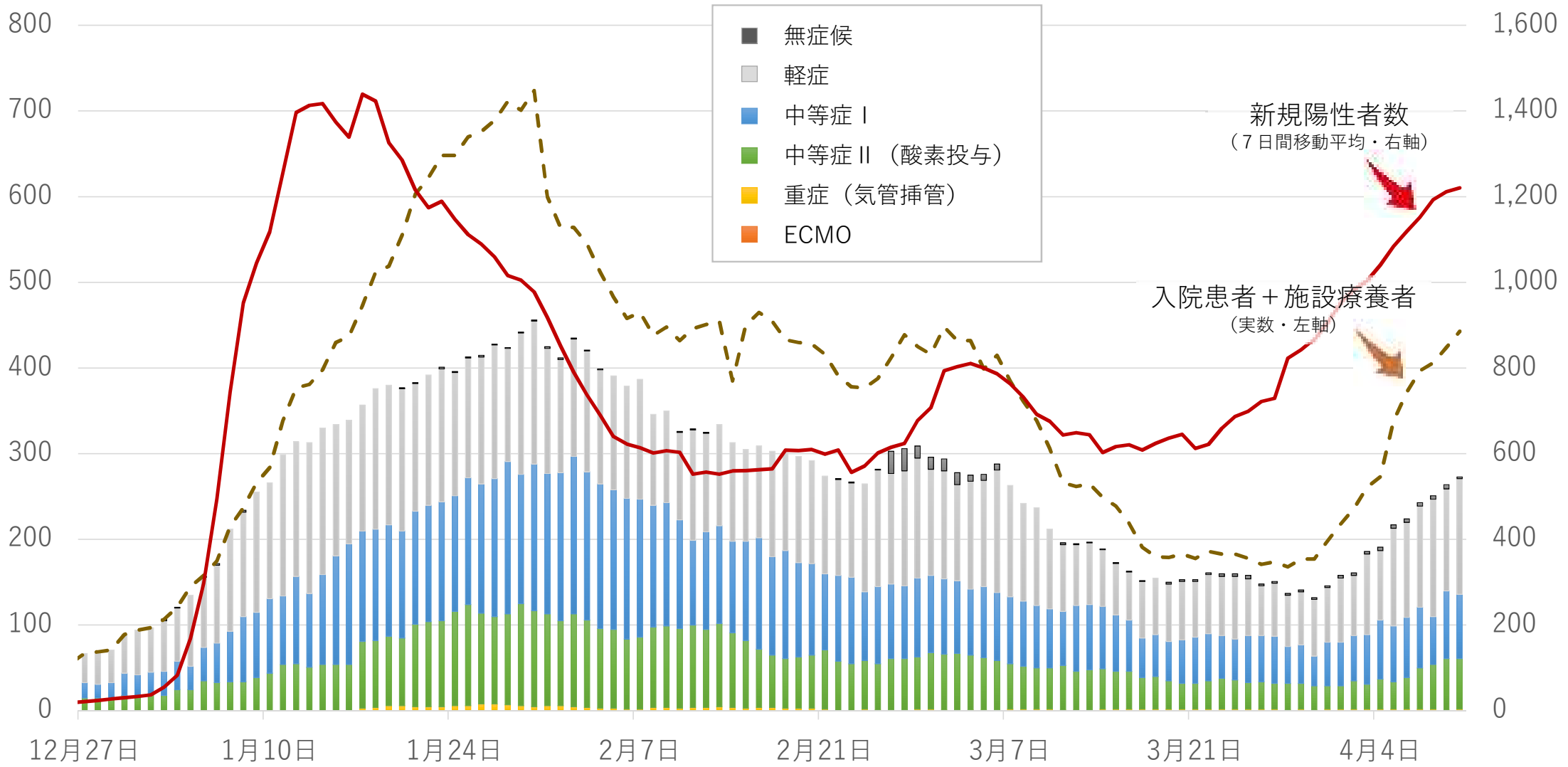


# 図4 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）

人口10万人あたり7日間合計



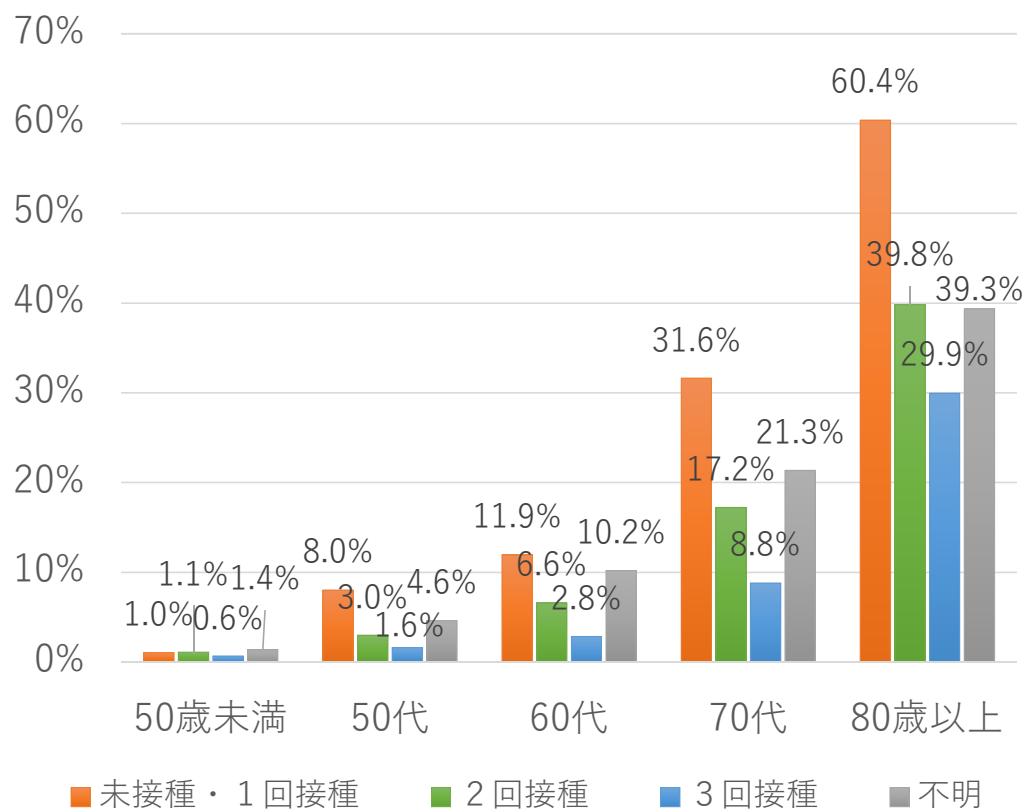
# 図5 重症度別入院患者数と施設療養者数の推移



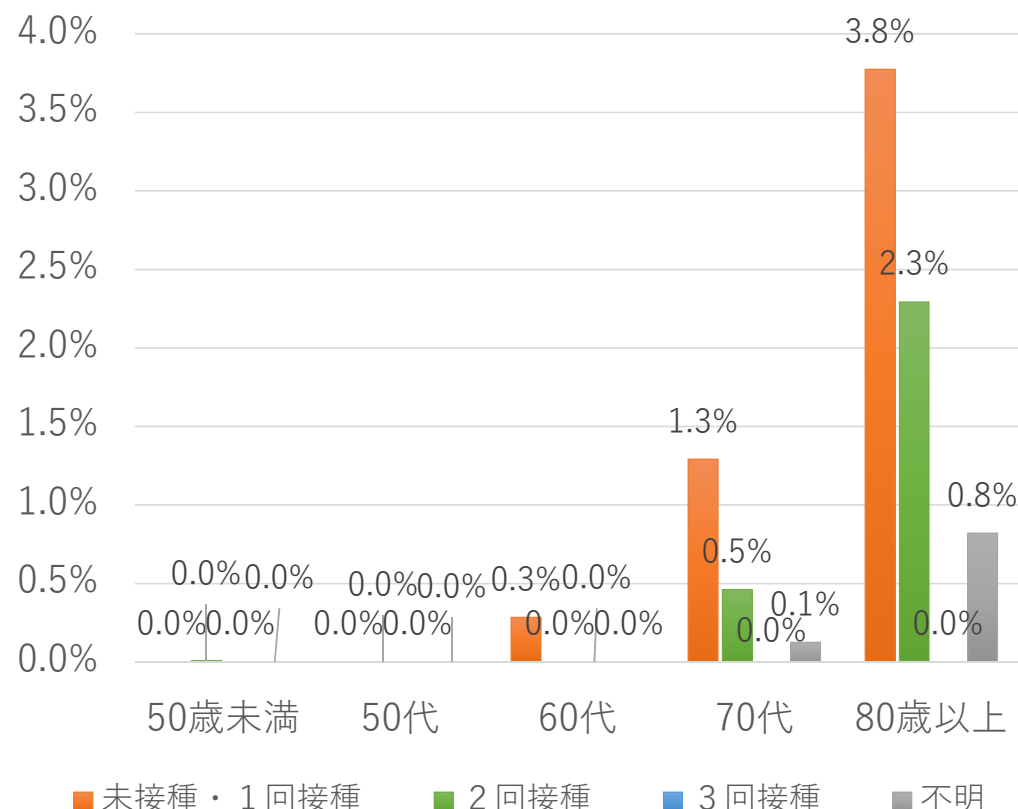
# 図6 ワクチン接種回数別にみる入院受療率、致死率（沖縄県）

2022年1月1日から3月31日までに診断確定した感染者72,965人について、ワクチン接種回数別に入院および死亡の状況を確認した。なお、接種後2週間以内の診断については、接種回数に含めていない。

### 入院受療率



### 致死率





# 図7 今後1週間（4月11日-17日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県  
 年齢群別重症化率； 厚生労働省  
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

実効再生産数	新規陽性者数（確定日）			入院患者数※			重症患者数※		
	1.0	1.5	2.0	1.0	1.5	2.0	1.0	1.5	2.0
<b>北部</b>	499	1,005	2,024	31	38	51	0.2	0.3	0.4
<b>中部</b>	3,021	6,084	12,251	107	147	216	1.7	2.2	3.0
<b>那覇市</b>	1,843	3,711	7,474	68	90	127	1.2	1.4	1.9
<b>南部</b>	2,408	4,849	9,765	66	91	134	0.7	1.0	1.5
<b>宮古</b>	283	570	1,148	6	9	13	0.1	0.1	0.2
<b>八重山</b>	336	677	1,363	10	13	18	0.1	0.1	0.2
<b>合計</b>	<b>8,390</b>	<b>16,895</b>	<b>34,023</b>	<b>288</b>	<b>389</b>	<b>559</b>	<b>3.8</b>	<b>5.1</b>	<b>7.2</b>

※ 4月17日時点の見込み数

沖縄県疫学統計・解析委員会